

よもやま歴史教室

2026

さまざまな歴史を学習することにより、心に栄養を与え、豊かに生きるヒントをみつけていただきたい。
皆様、ぜひご参加ください。

特別編

8 / 15(土)

午後 2 時 ~

シベリア抑留体験者が語る 最後の証言

— 今しか聞けない、生の体験記 —



稲垣 貞治 氏、



野原 國雄 氏

(サクソ演奏) いちお いくみ 一尾 郁美 氏

(語り) いながき ていじ 稲垣 貞治 氏、 のはら くにお 野原 國雄 氏、 もり ゆたか 森 豊 氏

特別編:受講料無料

【会 場】

菰野地区コミュニティセンターホール

第 4 回

9 / 19(土)

午後 2 時 ~

武四郎はなぜ 蝦夷地を調査したか

— 知られざる北の大地への挑戦 —

講師 やまもと めい 松浦武四郎記念館館長 山本 命 先生

【会 場】 菰野町町民センターホール

【受講料】 300 円 (高校生以下無料)

(菰野町郷土研究会合同開催 500回記念講演会 PART2)



菰野町郷土研究会 500回記念講演会 PART 1

9月13日(日) 10時~

千種地区コミュニティセンターホール

音羽地区に伝わる国見岳の三岳寺の由来、虚空蔵菩薩について物語る。

※入場無料、事前申し込み不要



■当日受付にて、住所、氏名、連絡先のご記入が必要です。

(ご記入いただいた個人情報は、当教室に関する連絡および運営管理の目的以外には使用いたしません。)

お支払いは現金のみです。お釣りのいらないようご協力をお願いいたします。

※講演内容等は、予告なく変更となる場合がございます。

※天候等諸事情により中止や変更となる場合があります。

中止・変更等は、菰野町役場 HP 等でお伝えいたします。

各 回 は
詳 細 裏 面 へ

令和 8 年

8 / 15 (土) 午後 2 時 ~

講演要旨

戦後、80 年が経過し、シベリア抑留の実体験を話せる方は、全国でもほとんどみえなくなりました。しかし、判明しているだけで三重県には 3 名の方々がご存命であり、その内の 2 名の方に、貴重な体験談をお聴きします。

語り部紹介

森 豊 氏

元日本カモシカセンター勤務。現在、御在所ロープウェイ(株)アドバイザーを勤める。三重テレビキャスターとして時々出演。自身が小さい時、バイカル湖ほとりのチタで抑留されていた父親から伝え聞いた話を紹介する。

演奏紹介

一尾 郁美 氏 (サクソ奏者)

サクソ奏者として様々なイベントで活躍。4 月のシベリア抑留三重県慰霊祭の折、毎年演奏している。

9 / 19 (土) 午後 2 時 ~

講師 松浦武四郎記念館館長

山本 命 先生

講師紹介

1976 年生まれ。
松浦武四郎記念館館長。
奈良大学文学部文化財学科卒業。
三重大学大学院人文社会科学研究科中退。2001 年松浦武四郎記念館学芸員、2015 年同館主任学芸員、2022 年から現職。
著書に『北海道の名付け親 松浦武四郎の生涯』(十楽)、『松浦武四郎入門』(月兎舎)など。

シベリア抑留体験者が語る 最後の証言

— 今しか聞けない、生の体験記 —

語り部紹介

稲垣 貞治 氏(満96歳)

松阪市出身、1930 年生まれ。国民高等学校卒業後の昭和 20 年 4 月 14 歳の折、軍属として博多から船で旧満州へ配属。満州の陸軍航空隊でトウモロコシから取れるアルコールの研究をする中、終戦を迎える。帰郷のため乗車した汽車が反対の方向へ向かい、ロシアのハバロフスクとその近郊のイズベストコーワヤの収容所へ送られ、約 2 年間の重労働を強いられる。幸運にも収容所の係官の配慮により、帰国することができた。

野原 國雄 氏(満100歳)

岐阜県出身。昭和 19 年に入隊し 20 年に満州で終戦を迎えた後、シベリアの捕虜収容所へ連行され氷点下 30 度の極寒の中、鉄道の敷設工事や原始林の伐採など強制労働の日々をおくった。黒パン 1 きれと粗末なスープしかなく、木の芽や実を食べて飢えをしのいだ。自身は「こんなところで死ねない!」という信念のもと、なんとか踏ん張り帰国できたが、永久凍土に眠ってしまった戦友も多くいた。舞鶴港に入港できたときは心の中で万歳を叫び、迎えに来てくれた兄の姿が涙でかすみ、牡丹餅のうまさに無上の喜びを感じた。

武四郎はなぜ 蝦夷地を調査したか

— 知られざる北の大地への挑戦 —

講演要旨

幕末から明治維新にかけて激動の時代を生きた松浦武四郎。現在の松阪市小野江町に生まれ、蝦夷地(現在の北海道)を 6 度にわたり踏査。その成果として 150 冊を超える調査記録や、9,800 ものアイヌ語地名と内陸部の様子を詳細に表した地図を作る。

吉田松陰から奇人、藤田東湖から天下の奇男子と評されたが、明治維新に政府に登用され、北海道の名付け親となった。

武四郎はなぜそれほどまでに蝦夷地を調査したのか。

ロシアとの外交の最前線にあたる地域を調べた背景をわかりやすくお話しします。

講師は 2009 年開催の本教室の 144 回以来、17 年ぶり 2 回目の登壇で、今回は菰野町郷土研究会の通算 500 回記念講演会との共催で開催します。